

ヒトデの中身

ヒトデの中身は大部分が、^{しょうか き かん}消化器官・^{せいしよくき かん}生殖器官・

^{すいかんけい}水管系で占められています

ヒトデの体を縦に割って見ると、背中側が肛門で、腹側が口になっています。しかし、中にはモミジガイなど肛門を持たないヒトデもあります。

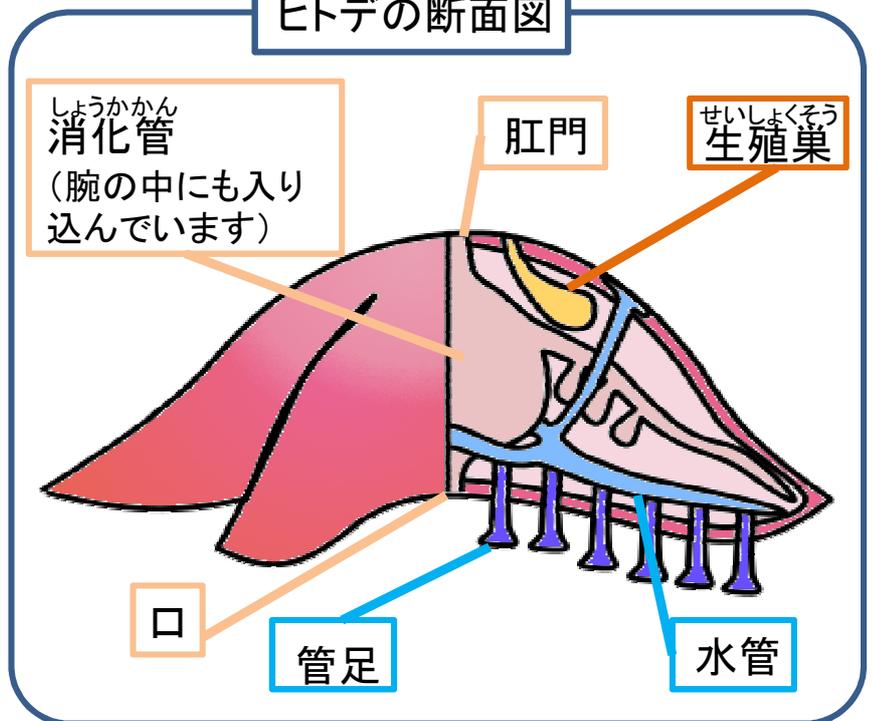
^{しょうか かん}消化管は体の中央にあります。腕の中にも入り込んでいます。^{すいかん}水管も腕の中に入り込んでおり、ここから^{かんそく}管足が出ています。この管足を使って移動します。

ヒトデの多くは、エビ・カニや魚の死体などを食べる^{にくしょくどうぶつ}肉食動物ですが、泥の中の^{ゆう}有機物を食べるものなどもあります。多くのヒトデはそのまま口を使って食べます。

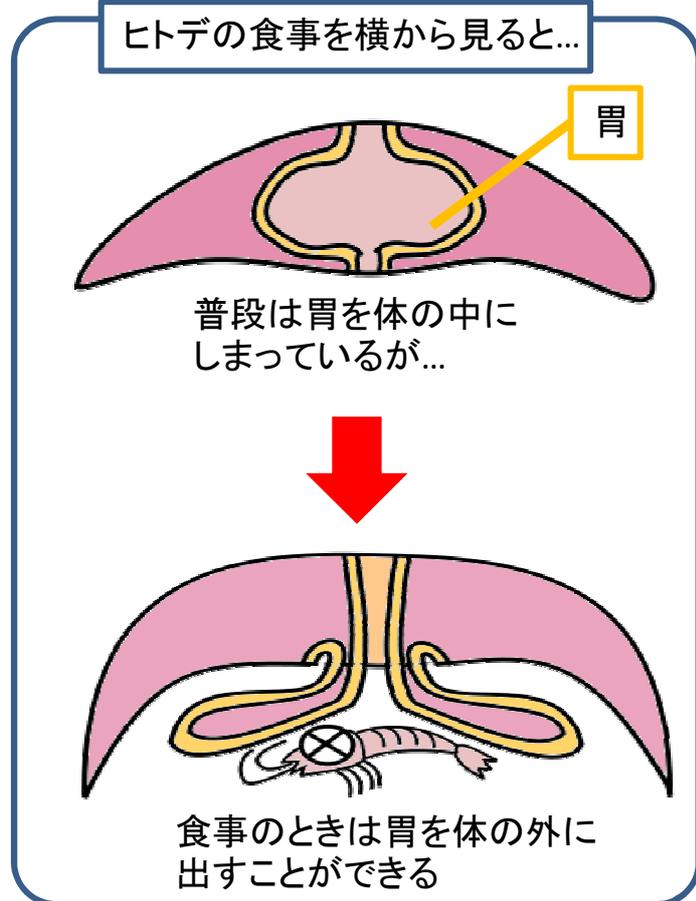
しかし、アカヒトデなど一部のヒトデは、胃を吐き出して、体の外で^{しょうかきゆうしゆう}消化吸収することができます。この場合、かなり大きな^{えもの}獲物でも食べることが可能で、数日から一週間ほどかけて消化することもあるようです。

また、貝殻の^{かいがら すきま}隙間から胃だけを入れて、貝の中身だけを食べることもできます。

ヒトデの断面図



ヒトデの食事を横から見ると...



普段は胃を体の中にしまっているが...

食事のときは胃を体の外に出すことができる